

海洋ごみ標本 仕様書

○商品概要

宮城県内の沿岸部で共通して拾われる海洋ごみを見やすく学ぶための標本セットです。海洋プラスチックの説明シートも入っており、ご利用される企業団体さんも不自由なく展示等に活用できます。

標本の制作時には、各団体さんにヒアリングを行い、各地の浜の状況や団体さんの利用目的に合わせて海洋ごみの種類の変更や、容器の仕様を変更することも可能です。

6月の豊かな海づくり宮城県大会100日前イベントや、弊団体のイベント展示、県内小学校でも下記の標本を展示しており、来場者や海岸美化協議会参加団体から好評を得ています。

○規格

海洋プラスチック標本（基本5種）、ガラス試験管（長さ20cm、コルク栓）5本、標本箱、海洋ごみの説明用カード ※写真はガラス試験管4本のモデルです。写真では海洋ごみの種類の名前が入ってませんが納品時には、試験管に貼られます。



←基本モデルには、豆管、硬質プラスチック片、レジンペレット、漁網、発泡スチロール片の5種が入ります。仙台市荒浜深沼海水浴場で実際に採取された海洋プラスチックです

カード内容（1案、小学校高学年向け）

豆管（まめかん）

養殖（ようしょく）で、牡蠣（かき）を育てる時、あかちゃんをホタテ貝につける。そのホタテ貝がくっかないようにすき間をつくるために使われる。ポリエチレン製

文責：環境系学生団体海辺のたからもの、けのひ 畠山紳悟

2021年8月22日 日曜日